



岡山県の医療を守るために、 県民のみなさんと共有したいこと



令和5年1月21日 岡山県感染症・医療専門家有志

岡山県内の医療が崩壊の危機に瀕しています。

新型コロナ感染者の増加により、医療・福祉領域は極度にひっ迫しており、救える命が救えない状況になっています。

救急搬送困難事案が増加し、通常医療の提供も困難になっています。

あなたの大事な方が倒れても、必要な医療が受けられないかもしれません。

医療ひっ迫を軽減し、岡山県の医療を守るために、県民のみなさんに次のことをお願いさせていただきます。

県民のみなさんへのお願い

● 対象となる全ての方※

・オミクロン対応型ワクチンの接種

※初回接種(1・2回目)を完了し、前回接種から3か月を経過した12歳以上の全ての方

● 発熱など体調不良となった方

・可能な限り平日の日中に受診

・救急車の利用 や 救急外来の受診は、
真に必要な場合のみ

参考:「岡山県HP:医療ひっ迫を軽減するための緊急のお願い」 <https://www.pref.okayama.jp/page/829334.html>

令和5年1月19日、岡山県医療専門家有志が、県民の方々に向けた現状説明の動画を撮影しました

以下のQRまたはURLからご覧ください

リスクコミュニケーション動画

● 第一部 (28分)

「医療ひっ迫と県民へのお願い」

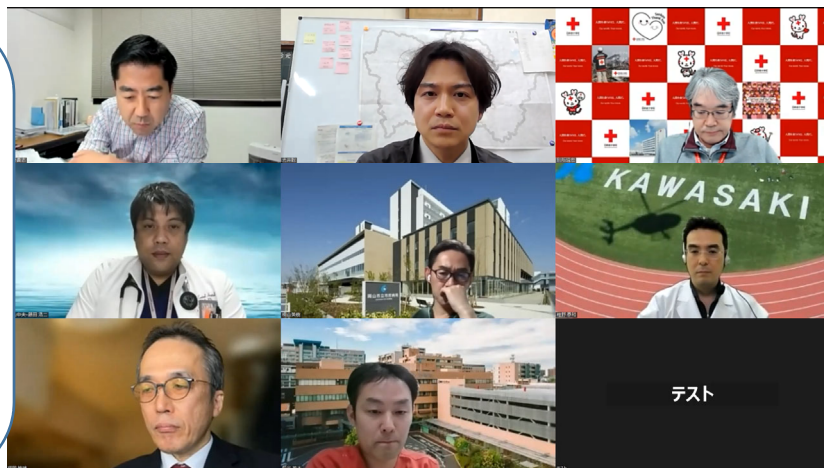
<https://bit.ly/3XnJzyR>



● 第二部 (31分)

「Withコロナに向けた専門家の意見」

<https://bit.ly/3J2vMK0>



頼藤貴志(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野)、萩谷英大(岡山大学病院 総合内科・総合診療科)、藤田浩二(津山中央病院 総合内科・感染症内科)、桐山英樹(岡山市立市民病院 救急科)、別所昭宏(岡山赤十字病院 呼吸器内科)、福岡敏雄(倉敷中央病院 総合診療科・集中治療科)、椎野泰和(川崎医科大学付属病院 救急科)、光井 聡(岡山県美作保健所)

チラシはこちらからも入手できます⇒岡山大学疫学・衛生学HP (<https://www.unit-gp.jp/eisei/wp/>)